

サクランボ特報

No. 1

令和8年3月16日
JA中野市園芸課
JA中野市サクランボ部会

2月から暖かな気温が続き、向こう1か月予報（気象庁）では気温がかなり高くなる予報が出ています。現時点では生育が平年よりも早まると予想されます。気象情報に十分注意し、生育状況をよく確認して早めの防除に努めましょう。今年は、凍霜害が心配されますので、凍霜害対策を講じて下さい。

（平岡）

佐藤錦	平年	R8	R7	R6	R5	R4	R3
発芽日	4/4	4/1?	4/5	4/5	3/30	4/7	3/29

＊発芽前の防除 対象病害虫 カイガラムシ類（ハダニ類）

散布時期	・発芽前（3月下旬）	
散布薬剤	水 98ℓ当り アプロードフロアブル 100mℓ スプレーオイル 2ℓ	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">散布日</div> <div style="text-align: center;"> _____ 月 _____ 日 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">散布量</div> <div style="text-align: right;"> _____ ℓ </div>
散布量	10a当たり； 300ℓ	
注意事項	<p>①胴枯病対策として発芽前に、石灰硫黄合剤の10倍を単用散布する。 石灰硫黄合剤は、隣接する園地やハウスビニールにかからないように注意する。</p> <p>②胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な場合は削り取り、トップジンMペーストを塗布する。</p>	

＊コスカシバ対策 薬剤散布による防除を行なう場合は、下記のいずれかを実施する。

①開花期までに、フェニックスフロアブルの500倍（開花期まで、1回）を樹幹部および主枝に散布する。（10a当り散布量目安5～200ℓ）

＊凍害対策

3月中旬～下旬の花芽が膨らみ始めた頃から開花期まで、低温遭遇時（-3℃以下）の花器障害が心配されますので、園内の保温（燃焼資材の利用、加温設備のある園地では加温機の使用等）により対策を講じて下さい。

次回特報発行予定日：3月30日

内容：開花前の薬剤散布 他

問合先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）

裏面もご覧ください。

「凍霜害対策講習会」の開催について

毎日のお仕事お疲れ様です。

下記により凍霜害対策講習会を開催しますので、皆様のご参加をお願い致します。

記

1. 日 時 令和8年3月26日(木) 午前10時00分
2. 場 所 ぶどうセンター
3. 内 容
 - ① 燃焼法の実演 (オイルヒーター、防霜ロック)
 - ② 散布資材の紹介 (フロストバスター、霜ガード等)
 - ③ その他

～凍霜害対策資材の紹介～

	資材名	期待される効果
①	霜よけ用 『オイルヒーター』 (高さ 1.5mまたは、1.2m) (幅：下部 52 cm、上部 47 cm)	最低気温-5℃以下など極寒冷地仕様。 1台当たり灯油 15ℓ で約 10時間燃焼可。夜間に灯油を補充しなくても良い。電力や設置工事不要、持ち運び可能。
②	燃焼資材 『防霜ロック』	1～2℃の気温上昇効果期待。10a 当り 20 個設置。 灯油 4 ℓ で約 3時間燃焼可能。(最大火力時) 火力調整フタにより火力調整が可能。
③	散布資材 『フロストバスター』	コーヒー由来の成分。 樹冠散布する事で、-3～5℃程度までの凍結防止。 凍霜害が予想される前日の日中に散布。
④	散布資材 『霜ガード』	ゼオライトに肥料を添加した多孔質乾燥資材で農薬との混用可能。 -3～4℃の霜に効果期待。シャクヤクに使用する場合、薬剤汚れ軽減のため着蕾期までの使用とする。

※

